

(目視で教えた60人位?)  
(関係者含む)

# ACF 2018 新年7ホーラム 札幌国際芸術祭を考へる

2018.2.3.SAT  
14:00~17:00  
カデコ2.7(520)

- ◆ 開会
  - 司会 大橋
  - 開会の挨拶 中森氏
  - 以降の進行 古家氏

・札幌国際芸術祭実行委員はACFでも活躍の一人。  
・市民と一緒にこの芸術祭がどう育っていくか見守りたい。

## ◆ 1 <SIAF2014, 2017を振り返る> (札幌国際芸術祭実行委員会 事務局長 熊谷氏)

- SIAF2017の概要
  - ・ テマ「芸術祭、ごなんだ? 十何々の星座たち」
  - ・ ディレクター 大友良美氏、星野体制
  - ・ 会場、作品の紹介
  - ・ 芸術祭の特徴としては多種多様性?

	<ディレクター>	<テマ>	<サブテマ>	<会場>	<開催地>
SIAF 2014	坂本龍一氏	都市自然			
SIAF 2017	大友良美氏	芸術祭、ごなんだ? 星座たち	十何々の星座たち		

- 1981年の第1回国際現代芸術展? 札幌 SIAF開催までの流れの説明。
- 創造都市: 文化が私たちの暮らしに役立つ、創造性を高める、右の効果を期待するのは
- 現代美術: 経歴の定まり方ない芸術。一人の作るものもある。議論が起る...等。  
⇒ 街に「コト」が起る。
- 大友さんの夢: 札幌は札幌もよく芸術祭に促す街  
札幌の人たちが工夫して新しい形を考へていくはず。  
2017を体験した人たちが次どうするの?

## ◆ 2 <アートホウ>テマの議論は (札幌アートホウ>代表 西川氏)

- Vnetで芸術祭について何度も議論した。
- 芸術祭のコンセプトを独自に作成、13枚を配布する予定。
- 「この芸術祭を続けたいにはどうしたらいいの?」  
「札幌の国際芸術祭を展開したい!」
- SIAF2017は価値重視? → 札幌市と札幌市と連携して行う、という声も。  
・ 違う  
・ 札幌市とどうなるか。  
・ /イマ、でいい?  
・ 会場 多く、支店数が多い。行進)3U。気軽である。  
・ 第1回「都市と自然」 → 第2回(2017)は「都市と自然」に継承された。

「このことを大事にしたい」  
札幌の独自性 国際性



- 徳盛さん x 古家さん
  - ・「命がけでいいか」と面白く、てくく。受け取ってくくする人も。
  - ・「どう日、たすいんか」という相違を愛して(特に来歴者)。  
→ 下村のま: 「まが「見た」が、ルキリしてUPの「ル」にPT/MSをいす。
  - ・「あのPTを家でもやいな!」と実行した家持も。
  - ・1作の説明はいい、してはいい。→ してはいい白Happyも子供向けのYP等もあ、てお、たのめ?
  - ・「回りが命がけでくく行はるんか」人もいるのは?
  - ・区外下村国府芝刈、「資料館は正しくPTをさす、た」とのコメント。

◆ 4 座談会 1月再び「芸術祭、てなんだ?」 ~ 三つの視点 ~

(徳盛 A, 下村天神山PTスタジオオアロクンテシタ - 1田井 A  
SIAF2017 ホランテアセ) 下村 佳代子 佐藤 A,  
モエリ アキコ 高井 A, 古家 A)

- ① 北海道発のPT、てなんだ?
- ② 市民参加、てなんだ?
- ③ 2020はどんな芸術祭に?

① たつね

- ・北海道在住で作品作ってる人たち。→ 何となく北海道発の作品の人が多い?
  - ・公募展の案。作品作、てんた(土)いる。
  - ・日本の美術史に聞かす人が北海道も、てきて交流が生まれてる。
  - ・北海道で生まれた作品。11年-4型など。
- ・>かみさるん...
- ・「北海道のアーティスト、て?」 → 北海道発の作品作人も北海道のアーティスト、てんた(土)いるのは。
  - ↳ 「土地を愛する人達」あつた視点で北海道にいる人たち。
  - ↳ 1970年代以降、区外から来て作品をい作る活動は、大増えに増えている。

(文化行政: 「創世都市は文化政策とは何かをいすのては?」)

(「現代美術の芸術祭」 = 「同時代を生きる人たちの作る芸術祭。」と見ていた)

- ・SIAFの歴史をいす時、1980年代等には「美術」の人たちが始めた。
- ・SIAF2017は美術の展示が少なかった。→ 「美術にこだわらないうえ、とていかにいすのては...」
- ・芸術祭は「美術展」といす名称にしなかった。(美術にこだわらないうえ)。
- ・2014はオーソドックスな形。2017は個性のあつた、展覧会がいろいろあった。  
→ 2017はイベントXカルという仕組み。てんた(土)はあつた。てんた(土)はあつた。てんた(土)はあつた。てんた(土)はあつた。  
自発的・自発的をいすのては... → 「自発的はいすのては...」が、ルキリした。  
→ 2017はイベントがすく多かった。てんた(土)はあつた。  
↳ ホランテアの人たちは他にいすのては...  
↳ テンコーツをいすのては... 情報と交流していいのてはあつた。



- 「木村3h」は生きた森、人はかま、て交付があること。
- 2020に向けて今日・明日の付加価値を? を考え、公費に動く前に自分で活動を始めよう。
- 行政: 開催年の予算, 非開催年の予算が違えば、力の入れ方も違う。
- SIAFラボについて (漆さん)
  - > 芸術祭の非開催年に芸術祭の普及促進を行う活動。  
→ 芸術祭に関心を持ってもらう。カヌー
  - > SIAFラボ独自の活動理念を持つように。  
→ 自分たちがどんなことを選択し、何をやっていくのか考える。  
→ 願望、"Yラボ"  
→ 「木村を知ろう！」
- SIAFラボ → SIAF A のつなぐ力があまり見えなかった。  
市民の動きをSIAFにつなげる役割を持つ。
- 2017 「アートと食のミテ」 ← 通年でやってもいいのでは。
- アートと食のセンター (芸術祭2017に今年も開始)  
区外から来た作家に招待する情報をまとめる資料を作ろうとした。  
活動は今年も継続。
- 芸術祭は区内でオンライン、オフラインの事業ではない。  
→ この概念・気持を持ってほしい。みんなの力は。  
他の人たちが入りこむ...  
→ ここにコトやネタが必要では。  
非開催年も活動してほしいのでは。

来年度の計画  
立てよう

◆ 5 全席の意見・質疑応答

- 近所 (モエ) があるのに周りの人達、たけ" 誰も知らない。  
→ まちつとらぶのアーティストの皆さんたちに情報をあつらえる?
- 市民皆が命がけの活動で例えはモエで一歩に踏み出すのは?
- 50年前 木村の中心。このまじやk.maha、モエ江、芸術の森等は当時のインフラ。  
今は更地の時期。今の私たちは50年後、将来への投資として何に  
お金を使えばいいの?